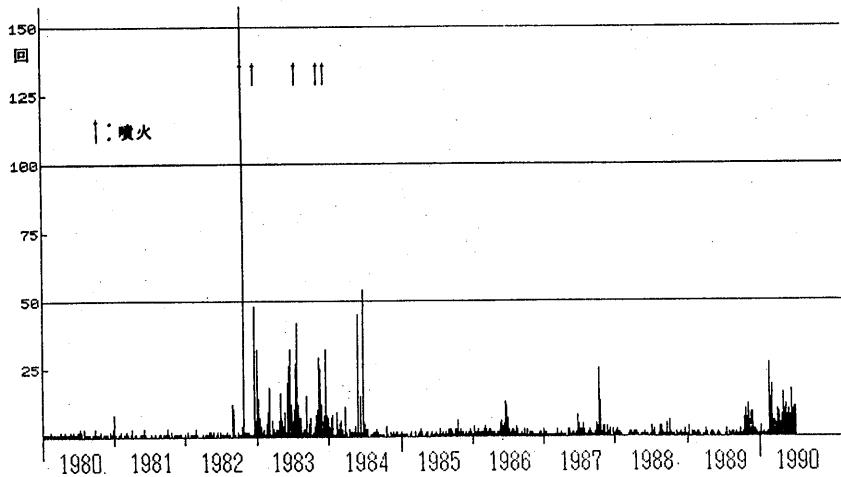


# 草津白根山の最近の火山活動\*

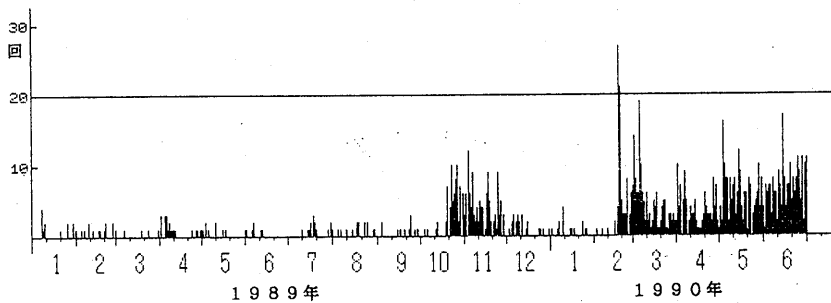
気象庁地震火山業務課

草津白根山は1984年半ば以降、1986年6月、1987年8月、1989年10月～11月に一時地震回数が増えたが、比較的静かな状態が続いていた(第1図)。しかし、本年2月17日から地震回数が増え、7月末現在も多い状態が続いている(第2図)。



第1図 日別地震回数(1980年1月～1990年6月)

Fig.1 Daily number of earthquake, January 1980 - June 1990.



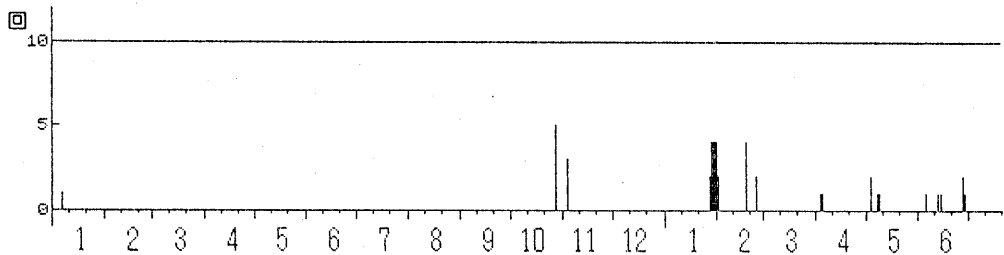
第2図 日別地震回数(1989年1月～1990年6月)

Fig.2 Daily number of earthquake, January 1989 - June 1990.

\* Received July 31, 1990

5月8日にはA点(湯釜の北東約1.1 km)で三成分が振り切れる地震(全振幅5  $\mu$ 以上)が発生した。三成分が振り切れた地震は、1978年に気象庁が草津白根山の観測を始めてから、1983年11月の噴火時の爆発地震2回を含め、今回が3回目である。

一方、火山性微動は1982年～1984年半ばの火山活動の活発な時期以降、1988年5月までの約4年間発生がなかった。その後、1989年1月、10月、11月に発生したが、本年1月27日に連続微動が発生した後は発生回数が増えている(第3図)。



第3図 日別微動回数(1989年1月～1990年6月)

1990年1月27日～2月1日は連続微動。

Fig.3 Daily number of tremor, January 1989 - June 1990.

草津白根山では、1982年～1983年の噴火地点の近くの湯釜北西部の湖面に、1989年1月6日以降、黒色又は薄い灰色の変色水が認められるようになった。1989年は1月と9月に確認された。本年に入ってから、7月まで毎月確認されており発生回数が増えている。また、本年6月からは湯釜中央東よりに白色の変色水が認められるようになった。表面活動が活発化してきているといえよう。

草津白根山の前回の1982年～1983年の噴火活動と地震・微動活動との間には、密接な関係が見られたことなどから、今後の火山活動には十分な注意が必要であろう。